

集 団 的 自 衛 権 容 認 に 抗 議

著名829氏が アピール賛同 「九条の会」 安倍首相を批判

「九条の会」の小森陽一事務局長（東京大学教授）らは14日、国会内で会見し、安倍内閣が憲法解釈変更による集団的自衛権行使の容認に暴走を強めていることを批判し、全国各地の「九条の会」に「集団的自衛権行使による『戦争する国』づくりに反対するさら大きな運動を盛りあげていこう」と呼びかける「訴え」を発表しました。

「訴え」は、現在、政府が憲法上認められないとしている集団的自衛権の行使について、安倍首相が国会答弁で、選挙で勝てば自由に解釈を変更できるかのように語っていることにふれ、「憲法は権力行使のあり方を規制するものとする立憲主義の原則を根本から否定するもの」と厳しく批判しています。

会見で渡辺治・一橋大学名誉教授は、安倍首相の発言について「集団的自衛権を容認するという9条のあり方を根本的に否定する中身もさることながら、9条を根本的に変えることを閣議決定で行うという手続的な問題は極めて大きい」「国の基本的なあり方を

時の政治的多数派が決めてはならないというのが憲法だ」と批判しました。憲法研究者の小澤隆一氏は「集団的自衛権の行使は違憲だという解釈で、インド洋やイラクへの自衛隊の派兵でも（自衛隊の行動は）縛られてきたが、この憲法の縛りを取り払うこと自体が、立憲主義に対するとんでもない破壊行為だ」と強調しました。

会見ではまた、「九条の会」が昨年10月に発表したアピール「集団的自衛権行使による『戦争する国』づくりに反対する国民の声を」に対し、憲法研究者や宗教関係者、俳優など、各界の著名人ら829人から賛同（14日現在）が寄せられたことを報告。賛同人には、有馬頼底（臨済宗相国寺派管長）、岡野俊一郎（国際オリンピック委員会名誉委員）、沢田研二（歌手）、田中優子（法政大学教授）、山田洋次（映画監督）の各氏ら多彩な顔ぶれが名を連ねました。

2014年2月15日（土）

核兵器禁止 法的拘束力ある基準を メキシコ国際会議閉幕 議長総括を発表

【又エボバジャルタ（メキシコ西部）】島田峰隆「当地で開かれているメキシコ政府主催の「第2回核兵器の人道上的影響に関する国際会議」は14日、議論のまとめとして、核兵器を禁止する「法的拘束力のある文書を通じた新しい国際的な基準と規範」を呼び掛ける議長総括を発表して閉幕しました。

2日間の議論を踏まえてメキシコ政府がまとめた議長総括は、核兵器の使用がもたらす広範な被害や否定的影響を考えると、核兵器は「人間の尊厳に反する」と指摘しました。

議長総括は「さまざまな兵器は過去に禁止された後に廃絶された。これが核兵器のない世界を達成する道だと信じる」と強調。「人道的影響についての広範で包括的な議論は、各国や市民社会が法的拘束力のある文書を通じて新しい国際的な基準や規範に合意することにつながるべきだ」と述べました。

「今回の会議はこの目標の達成に貢献す

る外交過程を始める時が来たことを示している」とし、この過程は「一定の時間の枠組み」で行われるべきだと強調。「被爆70年の2015年は適切な機会だ」としました。

同日午後の自由討論では日本を含む約70カ国の政府代表が発言しました。非同盟諸国をはじめ多くの国が、核兵器使用の非人道性についての認識が共有されたととして、核兵器禁止条約の交渉開始など「具体的な措置」を始める段階だという意見を表明しました。

日本政府代表は「現実的で実際の努力を強める」と述べましたが、核兵器禁止条約の必要性には触れませんでした。会議には146カ国が参加しました。

2014年2月16日（日）

外相、有事に核持ち込み 民主党政権の答弁踏襲 衆院予算委

岸田文雄外相は14日の衆院予算委員会で、有事の際に米国から核兵器持ち込みの要請があった場合の対応について「（民主党の）岡田（克也）外相時代、そのときの政権の判断することだと答弁されている。現政権もこの答弁を引き継いでいる」と表明しました。「核兵器を作らず、持たず」と並ぶ非核三原則を構成する「核兵器を持ち込ませず」の基本原則をないがしろにし、核兵器の持ち込みを容認する考えを示したものです。岡田氏への答弁。

岡田外相（当時）は2010年3月17日の衆院外務委員会、将来の緊急事態に際し、核兵器の持ち込みが必要になれば、「それはそのときの政権が判断すべきことで、今、将来にわたってそういったことを縛るということはいくつかを容認する事態もありうるという姿勢を示していました。

岡田氏の答弁を「引き継ぐ」とする岸田外相の表明は、「国是」としての非核三原則の位置づけを低め、緊急事態に米国からの要請があれば、核兵器の持ち込みを容認するという安倍政権の姿勢を表明したものです。

2014年2月16日（日）

2014, 2, 18 NO, 645

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
（事務局）池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

ソチ五輪

始まりましたね。第二十二回冬季五輪のソチオリンピックが。皆さんは、このソチと言う所に行かはった事は有りますか。当然、私は有りませんが、まあ、ここに限らず、オリンピックの開催地を訪れる事は本当にまれだと思います。

私の場合、たまたま趣味がスキーですので、長野県へはちよくちよく行っていました、長野五輪（十八大会）の会場になったスキー場の一つ、志賀高原には何度も足を運んでいますんで、実際にコースとして使用された、焼額山や東館山は滑っています。

今回のソチは、黒海に面していて、ロシア随一の保養地と言う事ですから、東欧方面を巡られる

機会の有る方は、ひよつとしたら訪れる事も有るかも知れませんか。次回（二十三大会）の開催地は、

韓国の平昌（ピョンチャン）ですから、今回のソチに比べれば、大分に訪れる方も有る事でしよう。何でも韓流ブームを作った大ヒットドラマ、『冬のソナタ』のロケ地としても有名な所のようにです。

さて、今回も多くの感動を貰っているオリンピックですが、スポーツが与えてくれる感動って何なんでしょうね。何物にも例えようの無い清々しさが有りますよね。政治もこれで行くかとあきま

せんね。
川西町議会
議員 和也



空からの贈り物

十四日はバレンタインデー。チョコレートならぬ大雪の贈り物が届きました。

奈良県は二四年ぶりの大雪警報が発令されましたが、皆さんの所では被害はありませんでしたか？我が家の前の駐車場ではチェーンがタイヤに巻き込んでしまい、外すのに苦労した方もおられました。国道24号線は車はノロノロしか動けず大渋滞。

私は普段、車で往復5分の郵便局がこの日は徒歩で1時間もかかり、くたくた。県内でもスリッパ事故、公共交通が乱れ、五條市と十津川村の一部では3時間半も停電。またテレビを見ると関東方面では高速道路で車内に何十時間も閉じ込められるという状況。本当に

お気の毒。大雪に慣れない地域や人々はその対策がなされていないので大変な被害になってしまっているのでは。近年のこの異常気象では雪の対策も行政、個人ともに怠ってはいけないと思えました。

それと大雪で困っているのは大人だけ？子どもは空からの白い贈り物に大喜び！北小の子ども達も雪だるまづくり、雪投げ合戦と大はしゃぎしていました。又、和歌山ではトラックで百トンもの雪が運ばれ、子ども達が喜んで遊んでいます。「空からの贈り物はほとんどにして貰えませんか？」と上を向いて言いたくなりました。

田原本議会
議員 森 良子



大雪大変でしたね

先週の金曜日、朝起きたら雪が積もっていました。單車で新聞配達に出ると、家の周りは雪だらけ。車の轍の上を慎重に走って何とか広い道に出ることができました。

日頃は、通過車両に文句を言ってますが、この時ばかりは「もっと走ってくれたら、もっと雪が無くなっているのに。」

本当に勝手ですすね。家の前を除雪されている方に「大変ですね！」と声をかけると、「気を付けてください」と笑顔で優しい声が返ってきました。大変な時だからこそ、人は優しくなるんですね。そんな中でも、子どもたちは元気に雪だるまを



インフラ補修対策

先日、インフラ補修対策現状と問題点という講演（NPO建設政策研究会関西支所蚊口哲也）を聞きましたので内容を紹介します。

昨年、中央高速道笹子トンネルの天井崩落事故がありました。その原因は天井板にあがって作業員が届く範囲でボルト類を打音検査したものの、それ以外は目視で点検していたのでボルトなどが打ち込まれている中身まではわからない状態です。事故が発生したのではないかと。かというものでした。

日本中の建造物の耐用年数は40年から70年という歳月がたっているものが多く、今すぐ補修や必要なものが多くなっている。国交省所管

8分野の維持管理費推計（19兆円）は毎年2兆円ずつ使った計算でも今後50年間で30兆円も不足する状態になっている。建造物は必ず壊れる。良くなることがないので点検・維持管理、補修などが今後見込まれる。

三宅町では小学校・幼稚園・式下中学校の耐震補強強化工事が完了。今後、役場の庁舎が老朽化して来ているし、水道管も石綿が使われている部分もあると言われています。早急に検討する時期に来ているのではないのでしょうか。

（前回の臨時議会の中で土江教育委員の名前が間違っていましたので訂正し、お詫びいたします。）
三宅町
池田年夫

